

名前：

今の世界はデジタル世界と言えるほど、紙のデータやテキストは全部E-Bookというデジタルレリョウに変わりつつけている。その中で紙の新聞のようはものを作らなくてもいいと思っている人<sup>達</sup>いるそうである。もちろん、最近のニュースや必要な生活レリョウほうはインターネットで見ることができから、新聞や雑誌をりようしない人がほとんどである。だからといって新聞や雑誌を作らなくてもいいわけではない。世界にはお金持の人たちがいればびんぼうな人たちもいる。お金にやゆうのほい人たちや体の不自由な人たち、孝人のためでもマナロケレリョウは必要とされると考えられる。その以外にも必要な理由はたくさんある。多くのレリョウを集めなければならぬ教育者とか、研究者、学者などに必要だと思う。そして何よりも大切なのはこういう時こそ昔からのものを守っていかねければならぬ。こういう時というのほとんどレリョウが

デジタル化されている時を指す。新聞や雑誌こそ人間らしさを味わえるもののの中で一つだと思われる。必要とする人が少ないからもういらないうのではなく、少なくとも必要とする人がいるかぎり、作るべきである。インダネットにのせたニュースは何か問題になる発言があったらすぐに直せるし、けすこともできるから、新聞よりもせきにんかんがないと感じられる。あと、自分のニュースを多くの人に見てもらうため、レリョウ的タイトルを書く。レリョウ的タイトルをクリツクすると全く違う内用にはらがつことがある。インターネットの文やテキストはこのようは問題以外にもさまざまな問題があるため信用されてない。インターネットの問題やせきにんを持たない記者の問題などをかいつくせないかぎり、デジタルのレリョウを信用することはあずかしいと考えられる。

1800字